

本村睦幸リコーダーシリーズ第17回

パトリック・デネッカー + 齊藤文誉 + 本村睦幸

3人のリコーダー奏者の楽しみ

～ ルネサンスポリフォニーから古典派の三重奏まで ～



FUMITAKA SAITO



PATRICK DENECKER



MUTSUYUKI MOTOMURA

Program

🎵 フランドルのポリフォニー 🎵

チコーニア、イザーク、ジョスカン・デ・プレ
ギセリン、アグリコラ、コンペールの作品 ほか

🎵 後期バロックから古典派へ 🎵

マッテゾン、ボワモルティエ、
カルの作品 ほか

2023年

10月4日(水)

昼公演

同プログラム2回公演

15:00 開演 (14:30 開場)

夜公演

19:00 開演 (18:30 開場)

ティアラこうとう 小ホール

〒135-0002 東京都江東区住吉 2-28-36

都営地下鉄新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉」駅

A4 出口より徒歩4分

入場料 (全自由席)

一般

前売 4,500円

学生

前売 2,500円

※当日は各券500円増しとなります

◆チケット取り扱い

PassMarket (「リコーダー奏者」等で検索)

<https://passmarket.yahoo.co.jp/>

オフィスサワイ ☎ 03-5944-5157 info@officesawai.com

東京古典楽器センター ☎ 03-3952-5515

◆Web ページ

<http://mutsuyukimotomura.com/231004/>

◆お問い合わせ

デ・ルストホフ lusthof.concerts@gmail.com

PassMarket



Web ページ





ルネサンスリコーダー・コンサートセット
「HIER-S」ターヴィ＝マッツ・ウット製作 2023年



アルトリコーダー
斉藤文誉 製作

Instruments



パトリック・デネッカー Patrick Denecker

リコーダー

ベルギーのリコーダー奏者。主に古楽の演奏と研究に注力している。したがって、演奏家としてはいわゆる「ヒストリカルな」演奏実践に行き着いているが、彼によれば、ルネサンス、バロック、古典派に限らず、最近の様式であっても、それぞれに学ぶべき時代背景や演奏習慣がある。そして彼は、可能な限り演奏曲にふさわしい楽器を用い、それによって作品が生み出された世界により共感しようとする。しかしまた同時に、音楽は、創意や想像性において妥協することのない瞬間瞬間の産物である。だから、特に音楽のようにすぐに消え去るものにとって、「古い」とか「歴史的」という言葉は相対的なものに過ぎない。現代は、音楽をめぐる状況のみならず、すべてのことが古い時代とは全く異なっている。いま鳴る音楽が当時と全く同じということはありません。だからこそ、作品が作られたときにどんな音で鳴っていたのか、どんな状況だったのかということを探求するのがますます面白いのだ。いずれにしても、この魅惑的な探求に乗り出すに当たって最も大切なのは、個々人の自由である。それによって驚くべき結果が得られ、それは人によって、また、それぞれの瞬間によって常に違ったものになるはずだ。

パトリック・デネッカーは、アンサンブル〈ラ・カッチャ〉と〈レッドハーリング〉の創設者で、そこでは非常に様々な編成の作品を取り上げ、あらゆる種類のリコーダーと歴史的リード楽器を演奏している。

斉藤文誉 Fumitaka Saito

リコーダー

高校在学中にリコーダー製作を決意し、多田逸郎にリコーダー演奏を師事。高校卒業後、渡独。フライブルグにて G. シェックにリコーダー演奏を師事。1981 年からパーゼル・スコラ・カントルムにてリコーダー演奏を M. ビゲに師事。在学中ビゲ氏所有のオリジナル、ステンズビー Jr. のアルト・リコーダーを参考に独学でリコーダー製作を開始。1985 年チューリッヒ音楽院で M. ヴァイレンマンに、1987 年からアムステルダム・スヴェーリンク音楽院で W. ファン・ハウエに師事。1992 年同音楽院を卒業。ミュージックアカデミーで J. ファン・ヴィンガルデンにリコーダー演奏を師事。カルフ・リコーダー国際コンクールにて最優秀後期バロック演奏賞、1992 年リコーダーアンサンブル部門第 3 位を受賞。1990 年と 1993 年にはブルージュ国際古楽コンクール・ソロ楽器部門にて栄誉賞受賞。以降、主にリコーダー製作活動に従事。現在、北ヨーロッパ 15 世紀のポリフォニー音楽を演奏する Aventure メンバー。東京・アムステルダム在住。

本村睦幸 Mutsuyuki Motomura

リコーダー

アムステルダム・スヴェーリンク音楽院卒。W. ファン・ハウエらに師事。アムステルダムを拠点とする十余年にわたる活動を経て、2001 年に帰国。リコーダー音楽が花開いたルネサンス・バロック時代の室内楽の楽しみを現代に活かすことを夢見て、愛好家の方々にととの聴く喜び、奏でる喜びの双方を見据えた活動を展開している。2019 年には 10 年ぶりに開催された「東京リコーダー音楽祭 2019」のディレクターを務め成功に導いた。現在は、リコーダーに本来的な小さなサロンのあり方を探る〈小さな室内楽〉シリーズを東京での活動のベースにおきながら、リコーダーの様々なレパートリーを網羅的に取り上げる〈本村睦幸リコーダーシリーズ〉や、多様な演奏家との共演を通してリコーダー音楽の可能性を追求している。ワオンレコードより「テレマン：無伴奏フルートのための 12 のファンタジア」、「ナポリのリコーダーコンチェルト」など多数の CD をリリースしており、各社の音楽配信サービスでも聴くことができる (Mutsuyuki Motomura で検索)。現在は、本年 5 月にリリースした「フランスバロック・ソナタの展翹」が注目を集めるほか、来年は「リコーダーによるオトテール作品集 (仮題)」をリリース予定。

公式 web サイト: <http://mutsuyukimotomura.com>

◆フランスバロック・ソナタの展翹



てんし
フィドール：リコーダーソナタ
マレ：マレ風ソナタ
オトテール：組曲ソナタ 作品 5-4
他
[Rec] 本村睦幸
[Vc] 山本徹、[Cem] 根本卓也

WAONCD-550 JAN/EAN 4560205956558

◆ナポリのリコーダーコンチェルト



スカラッティ：ソナタ 第 7 番 二長調
マンチーニ：ソナタ 第 19 番 ホ短調
フィオリンツァ：コンチェルト イ短調
他
[Rec] 本村睦幸
[Ensemble] The Jugong Boys & Co.

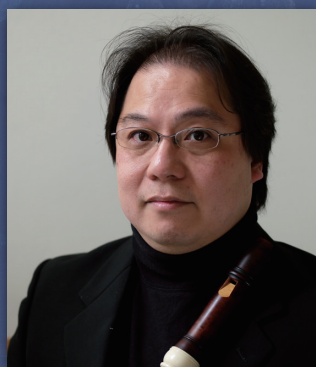
WAONCD-370 JAN/EAN 4560205956374

◆G.P. テレマン 12 の無伴奏ファンタジア



G.P. テレマン：
リコーダーによる、無伴奏フルートの
ための 12 のファンタジア全曲
[Rec] 本村睦幸

WAONCD-300 JAN/EAN 4560205956305



Profile